

総合防災技術推進会議 第1回会合

日 時：令和8年6月3日（水） 15:15～17:15

場 所：中央合同庁舎8号館8階 特別大会議室（N829）

議事次第

1：開会

2：議事

(1) 防災分野における技術開発の現状

(2) ニーズ・シーズ調査の進め方について

(3) 事前防災対策総合推進費について

3：閉会

【配布資料】

議事次第

委員名簿

資料1：防災分野における技術開発の現状

資料2：本会議の進め方・ニーズ及びシーズ調査について

資料3：事前防災対策総合推進費について

参考資料1：総合防災技術推進会議 設置要領

参考資料2：総務省消防庁 資料

参考資料3：国土交通省 資料

参考資料4：内閣府科学技術・イノベーション 資料

参考資料5：文部科学省 資料

参考資料6：事前防災対策総合推進費 事業一覧

「総合防災技術推進会議」の設置について



総合防災技術推進会議

【全体的な実施方針について議論】

- 防災技術のニーズ及びシース調査の方針検討
→ 調査の対象や調査手法等の検討
- 研究テーマの検討
→ ニーズ・シース調査結果を踏まえた、技術開発の重要性の高い研究テーマを検討
- 技術開発推進の方策の検討
→ 研究テーマへの適切な推進方策（事前防災対策総合推進費、機能要求水準の提示等）を検討
- 社会実装の促進にむけた検討
→ 技術カタログ など

技術ニーズ・シース調査の
実施方針への助言

重要な研究テーマ等への助言

調査結果の報告

【各種調査を実施】

- ニーズ調査
→ 文献調査、自治体等へのアンケート調査、各団体等へのヒアリング調査を実施し、技術ニーズを整理。
- シース調査
→ 文献調査のほか、関係府省庁、民間企業、研究機関等へのヒアリング調査を実施し、技術ニーズを整理。

【研究テーマに応じた推進方策を整理・実施】

- 事前防災対策総合推進費による重点的な支援
→ 関係府省庁や研究機関等との連携を強化し、防災技術の開発や、現場実装、先進技術の活用を推進。
- 民間等での研究開発及び普及の促進
→ 機能要求水準を提示することなどで、研究機関や企業の研究開発や普及を促進。



総合防災技術推進会議 令和8年度開催スケジュール

第1回会議（6/3）

- ・令和8年度有識者会議の開催趣旨、検討方針などの全体説明
- ・防災技術に係る技術ニーズ・シーズの調査の実施方針案に係る意見交換
- ・令和7年度推進費事業の成果報告

第2回会議（8/26）

- ・防災技術に係る技術ニーズ・シーズの調査 中間報告
- ・技術ニーズ・シーズのマッチング手法について意見交換

第3回会議（10/14）

- ・防災技術に係る技術ニーズ・シーズの調査 報告
- ・研究テーマについて検討
- ・推進方策等の検討方針案について意見交換

第4回会議（11/30）

- ・防災に関して研究開発・社会実装を推進すべき研究テーマを整理
- ・推進方策として、官民における推進や推進費で推進する研究課題について意見交換

第5回会議（3/10）

- ・令和9年度推進費事業の公募状況の報告
- ・今後の検討課題に係る意見交換

※推進費の研究課題は、議論等を踏まえて内閣府で決定

フェーズフリー等促進検討会 (第1回) 議事次第

日時：令和8年6月3日(水) 13:00～14:45

場所：中央合同庁舎8号館8階特別大会議室(オンライン併用)

1. 開会

2. 議事

- (1) フェーズフリー等促進検討会の開催について
- (2) フェーズフリーについて
- (3) 今後の進め方について

3. 閉会

(配付資料)

議事次第

資料1 フェーズフリー等促進検討会開催要領(案)

資料2 フェーズフリー等促進検討会の開催について

資料3 今後の進め方について

参考資料1 フェーズフリーについて(別冊)

現状

- これまでの、防災教育や訓練、広報施策など様々な取組により、災害への備えは一定程度効果がでていますが、自助の取り組みは頭打ちの傾向。
- 災害への備えの必要性を認識されているものの、具体的な行動に至っていない層が一定層存在することから、負担感を軽減しつつ、日常生活の延長として自然に防災行動が促されるような取り組みが求められている。



検討の方向性

- 意識向上だけでは限界があり、行動を引き出す環境設計が必要
- フェーズフリーの考えを浸透させることにより、防災の取組が特別なものではなく、日常の延長として実践される社会の実現するため、以下に向けた取り組みを推進してはどうか
 - ・防災への心理的ハードルを低減し、社会全体で防災行動が当たり前になる機運の醸成
 - ・様々な主体が防災対応を広めるプレーヤーになり得ることなど、防災に対する気づきの喚起
 - ・フェーズフリーの考えを仕様に溶け込ませるなど、社会環境を変えることにより災害に強い社会の実現（施設設計の配慮、家具購入時に家具固定を標準化する など）

第1回 有識者検討会 6月3日

- ✓ 背景、検討会の方向性を説明
- ✓ 有識者よりご発表

第2回 有識者検討会 8月頃

- ✓ 提言(案)を提示
- ✓ 有識者よりご発表

第3回 有識者検討会 10月頃

- ✓ 提言のとりまとめ

※提言のとりまとめ後、アクションプラン等を作成予定